

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和5(2023)年2月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 教育部教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <https://jha-e.jp/>

受付時間 平日 10:00~17:00

発行日 毎月1日

学びを続けること

細川 敬貴

専門課程小委員会 委員

千葉大学医学部附属病院 経営企画課長

日本診療情報管理士会 教育委員会 委員長

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の感染拡大から4度目の春を迎えようとしています。この間、世界情勢は混沌とし、物流やお金の流れの停滞は病院経営にも多大な影響をもたらしています。そのような中、早ければ春にも新型コロナの感染症法上の分類引き下げが検討されています。病院経営に携わる立場の医療従事者にとっては病床を確保する必要性がなくなるとともに、病床確保支援事業等に代表される一連の補助金が廃止されることが最も大きな関心事かもしれません。制度の複雑さはあるにせよ、コロナ禍における病院経営を支えてきたことに疑いの余地はなく、これらに頼りきりになってしまった病院は試練の一年になることが予想されます。既に、減少した患者数の回復は喫緊の課題となっており、光熱水料の高騰のほか、医療機器や医療材料費が値上がりする中、公定価格である診療報酬を収入源とする医療機関は厳しい状況に置かれています。

さらに、医師の働き方改革に伴う労働時間の上限規制の施行も残すところ約1年に迫り、医師の増員や医師以外の医療従事者へのタスクシフトによる人件費の増加も避けられない状況にあります。他方、生産年齢人口が減少の一途をたどり、医療を支える人材不足は深刻な問題になります。働き手の不足が原因で、提供できるはずの医療が提供できない局面も出てくるかもしれません。資金面に余裕があれば、ロボットの導入も現実味を帯びてきます。

現在、私は病院経営に携わる立場ですが、診療情報管理士として培った能力と経験は、コーディングやカルテを監査する技術に留まらず、病院中のあらゆる情報を可視化し、データとして利活用しなければならない役割を担っています。現実には出来ないことも多く、歯痒さを感じる場面もありますが、DXの進展等はその流れを急速に推し進めています。

診療情報管理士の置かれた環境も目まぐるしく変化しています。活躍の場は診療情報管理部門から、医事、経営、調達等に広がっています。どれも専門的知識を必要としますが、診療情報管理士認定のために学んだことは必ず皆さんの礎となります。その上でテキストは大変優れたものです。しっかりと活用して欲しいと思います。そして、認定後は学術団体である日本診療情報管理学会、職能団体である日本診療情報管理士会等の研修会を通じて、時代の移り変わりや環境の変化に取り残されないように学びを続けてください。

